

本文

梁惠王曰、「寡人之於國也、盡心焉耳矣。河内凶、則移其民於河東、移其粟於河内。河東凶亦然。察鄰國之政、無如寡人之用心者。鄰國之民不加少、寡人之民不加多、^①何也。」

孟子對曰、「王好戰。請以戰喻。^②填然鼓之、兵刃既接、棄甲曳兵而走。或百步而後止、或五十步而後止。^③以五十步笑百步、則何如。」^④

曰、「不可。直不百步耳。^⑤是亦走也。」

曰、「王如知此、則無望民之多於鄰國也。」^⑥

【書き下し文】

梁(りやう)の惠王(けいわう)曰(いは)く、「寡人(くわじん)の国(くに)に於(お)けるや、心(こころ)を尽(つ)くすのみ。河内(かだい)凶(きよう)なれば、則(すなは)ち其(その)民(たみ)を河東(かとう)に移(うつ)し、其(その)粟(ぞく)を河内(かだい)に移(うつ)す。河東(かとう)凶(きよう)なるも亦(また)然(しか)り。鄰国(りんごく)の政(まつりごと)を察(さつ)するに、寡人(くわじん)の用心(ようしん)するがごとき者(もの)無(な)し。鄰国(りんごく)の民(たみ)は少(すく)なきを加(くは)へず、寡人(くわじん)の民(たみ)は多(おほ)きを加(くは)へざるは、^①何(なん)ぞや。」と。

孟子(まうし)對(こた)へて曰(いは)く、「王(わう)戰(たたか)ひを好(この)む。請(こ)ふ戰(たたか)ひを以(も)つて喻(たと)へん。^②填然(てんぜん)として之(これ)を鼓(こ)し、兵刃(へいじん)既(すで)に接(せつ)す。甲(かふ)を

棄(す)て兵(へい)を曳(ひ)きて走(は)しる。或(ある)いは百歩(ひやくほ)にして後(のち)に止(とど)まり、或(ある)いは五十歩(ごじつぽ)にして後(のち)に止(とど)まる。③五十歩(ごじつぽ)を以(もつ)て百歩(ひやくほ)を笑(わら)はば、則(すなは)ち何如(いかん)。』と。④

曰(いは)く、「不可(ふか)なり。直(た)だ百歩(ひやくほ)ならざるのみ。⑤是(こ)れも亦(また)走(は)しるなり。」と。

曰(いは)く、「王(わう)如(も)し此(これ)を知(し)らば、則(すなは)ち民(たみ)の鄰国(りんごく)より多(おほ)きを望(のぞ)むこと無(な)かれ。」と。⑥

設問

- 傍線部①「鄰国の民は少なきを加へず、寡人の民は多きを加へざるは、何ぞや」とあるが、恵王はここで孟子にどのようなことを尋ねているのか。説明しなさい。
- 傍線部②「填然鼓之、兵刃既接」を書き下し文に改めなさい（送り仮名・歴史的仮名遣いに注意）。
- 傍線部②「填然」とは、どのような様子を表す語か。簡潔に説明しなさい。
- 「棄甲曳兵而走」とは、戦場でどのような行動をとったことを言っているか。具体的に説明しなさい。
- 傍線部③「或百歩而後止、或五十歩而後止」を書き下し文に改めなさい。
- 傍線部④「以五十歩笑百歩、則何如」を書き下し文に改めなさい。
- 傍線部④に用いられている句法について、次の問いに答えなさい。
 - (1)「以A笑B」の「以」は、ここではどのような意味・はたらきか。簡潔に答えなさい。
 - (2)「則何如」の「何如」は、文中でどのようなことを問うているか。説明しなさい。
- 傍線部④で、孟子が「五十歩を以て百歩を笑はば、則ち何如」と問いかけたのは、恵王に何を気づかせるためか。説明しなさい。
- 本文中の「不可」の読み方を、送り仮名も含めて平仮名（歴史的仮名遣い）で答えなさい。また、この「不可」がここで表している意味を答えなさい。
- 傍線部⑤「直不百歩耳」を書き下し文に改めなさい。
- 傍線部⑤「直不百歩耳」の「直～耳」は、どのような意味を表す句法か。次から最も適切なものを一つ選びなさい。
 - ア 禁止「～してはならない」
 - イ 限定「ただ～だけだ」
 - ウ 反語「どうして～か、いや～ない」
 - エ 使役「～させる」
- 傍線部⑤「是れも亦走るなり」とあるが、「是れ」とは具体的に何を指すか。答えなさい。
- 「無望民之多於鄰國也」の「無（なかれ）」は、どのような意味・はたらきを表すか。句法の名称とともに説明しなさい。
- 傍線部⑥「王如知此、則無望民之多於鄰國也」を現代語訳しなさい。

15. 次の語の本文中での読み（平仮名・歴史的仮名遣い）を答えなさい。

- (1) 寡人
- (2) 粟
- (3) 兵刃
- (4) 走

16. 孟子は、戦場で五十歩逃げた兵と百歩逃げた兵のたとえによって、恵王のどのような点を批判（指摘）しようとしたのか。本文全体をふまえて説明しなさい。

17. この話のもとになった故事成語「五十歩百歩」は、現在ではどのような意味で使われているか。簡潔に説明しなさい。

18. 恵王が自分の政治を「隣国より優れている」と考えていた根拠は何か。本文の具体的な内容にふれて説明しなさい。

19. 孟子が説いた政治の考え方として、この話から読み取れる主張に最も近いものを次から一つ選びなさい。

- ア 民を移し食料を分け与える程度の対策こそ、理想の政治である。
- イ 多少の善政をほどこしても、根本が王道の政治でなければ隣国と大差はない。
- ウ 戦争に強い国こそが、最後には多くの民を集めることができる。
- エ 民の数は天命によって決まるので、王が心を尽くしても意味はない。

20. 『孟子』について、次の問いに答えなさい。

- (1) 『孟子』の思想の中心となる、生まれつき人間の心は善であるとする考え方を何というか。漢字で答えなさい。
- (2) 孟子が儒家として重んじ、孔子の教えを受け継いで唱えた、徳によって民を治める理想の政治を何というか。漢字二字で答えなさい。

21. 「五十歩百歩」と最も近い意味を表す故事成語・慣用表現を次から一つ選びなさい。

- ア 漁夫の利
- イ 大同小異
- ウ 矛盾
- エ 他山の石

22. 「請以戦喻」の「請ふ」は、ここではどのような気持ち・意味を表しているか。簡潔に説明しなさい。